

電機ジャーナル

DENKI JOURNAL

NEW MEMBER

太陽誘電モバイルテクノロジー労働組合
鈴木労働組合

FOREWORD

電機連合 書記長 神保 政史

「労使共同宣言」に込めた思い

広報委員スコープ season2 輝く電機の仲間たち ②

オムロン労働組合

電機産業に新しい風を吹き込む
若きリケジョ (理系女子)

風が吹けば組合はくわいはどうなる!? ③

“M&A”が起こったら
労働組合の活動で大切なこと!

INSIDE ▶ OUTSIDE

労働: 大澤 賢

官邸主導の「働き方改革」は
成功するか

政治: 伊藤 惇夫

わが内なるトランプ

経済: 高成田 享

保護主義よりも重商主義
トランプ時代の世界貿易

あなたと動けば、未来は変わる

参議院議員 矢田 わか子

あなたと動けば、未来は変わる

地協探訪

岐阜地方協議会

INFORMATION

電機連合議員団総会・会議&
設立50周年記念レセプション開催

大使館便り from マッキー ①

在英国日本国大使館 一等書記官 斎藤 牧人



電機連合の
中央委員会に
潜入取材!

知れば納得!

電機連合の総合労働
条件改善闘争の
流れと特徴

中央委員会に
潜入レポート

闘争期間中の
関係図

vol.244

電機連合の 中央委員会に 潜入取材!

毎年春にマスコミにも大きく取り上げられ話題となる電機連合の総合労働条件改善闘争(闘争)。でも、闘争はいつ頃から始まり、要求内容は一体どのようにして決まるのでしょうか。また、中央委員会では何をしているのでしょうか。そこで今回は、テレビなどで見る闘争の「一斉回答」を迎えるまでに、どのような経緯があり、どのような流れを踏み、裏では何が起こっているか、ご紹介いたします。



ところ変われば 呼び方も変わる「春闘」

電機連合では2002年にそれまでの「春季生活闘争」から「総合労働条件改善闘争」に名称を変更しました。同じ春闘でも、ナショナルセンターの連合や産別労組では違った呼び方をしているのはご存じですか？

- 電機連合…「総合労働条件改善闘争」
- 自動車総連…「春の取り組み」
- 連合…「春季生活闘争」
- 基幹労連…「AP(アクティブプラン) 春季取り組み」
- 金属労協(JCM)…「闘争」
- その他…「賃金闘争(賃闘)」など



知れば
納得!

電機連合の総合労働条件 改善闘争(闘争)の 流れと特徴

電機連合の闘争について、その特徴や
要求内容の作成から決定に至るまでの
流れを見ていきましょう。



Q1 電機連合の「闘争」とは?

まず特徴について見ていきましょう。

電機連合の闘争の特徴は、中央闘争委員組合(中闘組合)を中心に統一日程、統一要求、統一回答、そして統一行動という「産別統一闘争」を展開することです。そのために、中闘組合は事前にスト権を確立し、同時にスト指令権を中央闘争委員会に移譲します。そして、闘争の最終盤に決定する「ハドメ」を確保できない場合は闘争行動に入ります。このように各組合が足並みをそろえて、一丸となって取り組むのが特徴です。

【電機連合の闘争の特徴とねらい】

特徴

- ①スト権事前確立による「事前対処方式」
- ②中闘組合のスト指令権の「中央闘争委員会」への事前委譲
- ③統一日程、統一要求、統一行動

ねらい

労働条件の向上
波及効果

知っ得
①

各組合が
足並みをそろえて
推進します!

Q2 なぜ統一して闘争をするの?

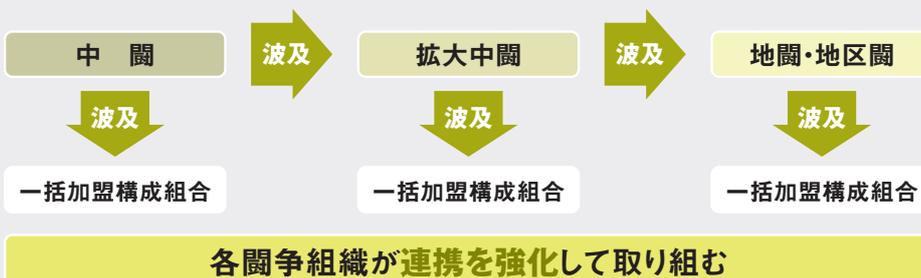
電機連合が闘争を進める理由には、以下の3つがあげられます。

- 統一した労使交渉による交渉力の結集と産業横断的な波及効果
- 闘争における日本のリーディング産業としての相場形成の社会的役割
- 年に1度の統一した労使交渉として60年間以上にわたって積み上げてきた労使関係の蓄積

電機連合は169ある加盟組合を「中央闘争委員組合(13組合)」「拡大中央闘争委員組合(23組合)」「地闘組合(133組合)」の3つのグループに分けて、闘争体制を確立し、労使による交渉を進めていきます。この区分は主要業種・事業やこれまでの実績などの要素によるものです。

実際の交渉では、大きな影響力を持つ中闘組合が先頭を切って回答を引き出すことでまず賃金水準改善の相場形成をし、それを拡大中闘、地闘・地区闘の交渉へと波及させます。闘争内容は、賃金引き上げだけでなく、雇用維持、労働時間の短縮、ワーク・ライフ・バランスの実現など、多岐にわたります。

【統一闘争における波及効果を引き出す取り組み】



知っ得
②

強い波及力を
実現するためには、
しっかりと足並みを
そろえた交渉を
行うことが必要!

Q3 いつごろから、どのように要求内容を決めるの?

電機連合の闘争の検討は前年夏頃から始まります。

7月の定期大会で運動方針が決定されたあと、大手を中心とした政策委員会と中堅・中小労組代表者会議で次期闘争に向けての課題などの検討が開始されます。

具体的には、10月ごろに電機連合から「労働政策委員会」「労協・法規政策委員会」の専門委員会へ「要求基準」についての諮問が行われ、審議に入ります(奇数年は労働政策委員会のみ)。何度かの委員会で論議がおこなわれたのち、11月末～12月初旬に専門委員会から電機連合に対し「要求基準」の答申をします。これを踏まえ、電機連合としての要求基準案を作成します。そして12月の政策委員会、中堅・中小労組代表者会議にて中央委員会にかけの議案審議をおこない、議案を作成します。

また、これらと同時並行して電機連合は連合、金属労協(JCM)の闘争方針の策定にも参画しています。

【要求内容決定までの流れ】

7月

定期大会(運動方針決定)

8月

政策委員会、中堅・中小労組代表者会議



【具体的要求基準の検討】

10月 電機連合から専門委員会への「要求基準」についての諮問

11月 専門委員会から「要求基準」の答申

12月 電機連合としての要求基準案作成
(12月初: 連合、金属労協(JCM) 闘争方針決定)

12月

政策委員会、
中堅・中小労組代表者会議(中央委員会の議案審議)

1月末

中央委員会(要求基準の決定)



知っ得
3

前年の夏頃から協議をはじめ、いくつかの諮問機関の検討を経て12月ようやく完成。1月の中央委員会で決議へ!

Q4 中央委員会って何?

電機連合の決議機関は「大会」「中央委員会」「代表者会議」の3つがあり、最高の決議機関は「大会」です。

中央委員会は大会に次ぐ決議機関で、電機連合本部の役員と各加盟組合から会費納入登録人員数と規約基準に基づき選出された中央委員、および地協代表者などからなる評議員で構成されます。ただし評議員に議決権はありません。

電機連合の中央委員会は基本的に1年に1回、例年1月に開催されます。中央委員会では「組合の加盟または脱退の承認」「闘争方針および活動方針」「規程の改廃」「中間決算報告および予算の補正」「役員辞任および補充」などが決定されます。なかでも中心的な議題は闘争方針の決定です。

中央委員会で闘争方針が決議されれば、いよいよそれぞれの加盟組合が交渉に入っていきます。

知っ得
4

「闘争の方針」を決定する
電機連合最大規模の決議機関!

中央委員会に 潜入レポート



中央委員会当日は、さまざまな組織の方々約2,000人が一堂に会
する数少ない機会を利用して、たくさんの会議やセミナー、打ち合
わせなどがおこなわれています。ここでは、中央委員会がスタート
するまでの裏側をご紹介します。



記者レクチャー



中央委員会に先立ち、マ
スコミに中央委員会の議
案などについて説明し、
質疑応答をしています。
統一闘争の考え方や長
時間労働の問題につい
てなどの質問がなされ
ました。

リハーサル



全体の流れの確認に加え、委員長
の立ち位置や新加盟組合の旗の位
置、ライブ配信のアングルなど、細か
く確認していきます。

設営開始



大勢の参加者を迎えるために朝早
くから会場設営の準備に取りかか
ります。



10:30



10:00



9:30



9:00



8:00

2017.1.26

女性役員情報交換会



労協・法規政策部が主催する加盟組合の女性役員を対象とした、闘争の取り組みポイント
などについて論議する会議。また、第103回中央委員会では、衆議院議員の民進党・山尾
志桜里さんを迎えて待機児童問題に切り込んだ講演会と、少人数での座談会も実施され
ました。この模様は機関紙『電機連合 No.1161』にも掲載されています。

地協事務局会議



総合組織部門が主催す
る全国36地方協議会
の事務局長を対象とし
た会議。電機連合の運
動を地域で推進するた
めの情報を共有してい
ます。



1日目

13:30

開会

いよいよ中央委員会が開会されました。



14:00

中央執行委員長あいさつ

まずは中央執行委員長によるあいさつから始まります。あいさつ内容は現在の電機産業を取り巻く情勢、闘争の意義、国政選挙関連のことなどさまざまです。

14:30

来賓あいさつ

上部団体や民進党などの多くの方々が激励のあいさつにお越しくさいます。



出展ブース



電機連合の共済案内や、神奈川地協が推進する障がい福祉活動の取り組み、NGO団体ジョイセフのフェアトレードなどを周知するブースなどが出展しています。

資格審査・立ち合い



資格審査委員に選ばれた人が受付に集合し、中央委員会の成立要件を満たしているかどうか、確認がおこなわれます。



15:30

15:30

第1号議案 加盟組合承認等に関する件



新加盟組合の加盟承認と脱退の承認をおこないます。新加盟組合の委員長のあいさつの際には、工夫を凝らした激励の掛け声が会場からおこなわれるのが恒例となっています。約2,000人を前にあいさつする委員長には、緊張と意気込みが入り交じます。



13:30

13:50

議事運営委員会



中央委員会の議事次第の確認がおこなわれます。

第2号議案 2017年総合労働条件改善闘争に関する件

③ 答弁

②意見・要望

電機連合の提案ののち、中央委員、評議員から質問・意見・要望を受けます。今回は、働く喜びなど労働の本質を広く伝えること、労働の適正な価値を問う、中小企業も含めた働き方改革など、7人の中央委員から電機連合方針に対する意見・要望をいただきました。



①提案(書記長から)

「2017年総合労働条件改善闘争に関する件」の提案をおこないます。2017年闘争では、「生活不安」「雇用不安」「将来不安」の払拭とともに、電機産業の持続的な発展をめざし、継続した「人への投資」に取り組むという電機連合の基本的な考え方にもとづき、4年連続となる賃金水準改善を提案しました。

④ 採決



可決

いただいた意見・要望に対して、電機連合からの答弁ののち採決をおこない、絶対多数で可決承認されました。この方針にもとづき、2017年闘争が進められていきます。

13:30

9:30

1.27

出席できない人のために
ライブ中継

中央委員の様子もWEB中継もおこなっています。中央委員会開催中に電機連合会員サイト「YOU・Iネット」で閲覧することができます。出席ができないという方も、ぜひチェックしてみてください。



第103回 中央委員会 ライブ映像配信
※ adobe Flash player対応です。
日時：1月26日～27日
開会から閉会まで [配信はこちら](#)

中堅・中小労組 総合労働条件改善闘争セミナー



中央委員会の終了後には、「中堅・中小労組総合労働条件改善闘争セミナー」がおこなわれます。中堅・中小労組を対象に闘争の取り組みについての詳細な説明と事例報告がされます。350名の定員にキャンセル待ちが出る人気のあるセミナー。

case study

三井ハイテック労働組合・太陽誘電労働組合

2017年は三井ハイテック労働組合の園委員長と太陽誘電労働組合の木暮委員長から、それぞれ「格差改善の取り組み」「無期雇用転換に関する取り組み」というテーマで事例報告をしていただきました。



三井ハイテック労働組合 園委員長



太陽誘電労働組合 木暮委員長



2017年度 闘争日程

2月16日(木)

要求提出

2月20日(月)

No.1 中央闘争委員会
(要求内容の確認)
(闘争指示の確認)
No.1 産別労使交渉

2月27日(月)

No.2 中央闘争委員会
(闘争指示の確認)
No.2 産別労使交渉

3月2日(木)

スト権確立・指令権委譲
(中闘組合)

3月6日(月)

No.3 中央闘争委員会
(闘争指示の確認)
No.3 産別労使交渉

3月11日(土)

No.4 産別労使交渉

3月13日(月)

No.4 中央闘争委員会
(「ハドメ」論議)

3月15日(水)

中闘・拡大中闘組合
回答指定日

3月21日(火)

No.5 中央闘争委員会
(中闘組合の集約内容の確認)

3月23日(木)

地闘組合一斉回答日

闘争期間中の関係図

中央委員会では、闘争の具体的な日程が確認されます。
その日程に合わせて、各組合は会社と交渉を進めます。

産別労使交渉

電機大手6社の労働政策担当役員と電機連合による交渉です(2017年は5社)。世界・国内経済、電機産業、企業情勢を踏まえたマクロ的な視点での議論をします。各企業労使の具体的な交渉につなげていくための産別労使交渉は、26年にわたりおこなわれています。



連携

中闘組合の労使交渉

電機連合の中央委員会で決定した要求方針にもとづき、各加盟組合は要求内容を決定・作成し、経営側に提出して企業労使の交渉に入ります。闘争期間中、中闘組合は中闘委員会で交渉の状況を報告します。電機連合からは交渉状況に応じて中闘指示が出され、各加盟組合はこの指示にもとづき交渉を推進します。



報告

報告

指示
中闘

中央闘争委員会

中央闘争委員組合13組合の交渉状況の報告と産別労使交渉の経過や、取り巻く情勢を踏まえて、その後の電機連合の統一闘争方針を決定する委員会です(2017年は11組合)。



金属労協(JCM)の集中回答日の対応

3月15日(水)

中闘組合からの回答連絡を受け、電機連合はJCMへ電話で報告します。JCMでは、その報告をホワイトボードへ書き込んでいきます。この風景は毎年、ニュースや新聞で報道されるので、ご存知の方も多と思います。



闘争オルグ

中堅・中小の直加盟組合を対象にした「闘争オルグ」では、電機連合の役員が各労組に伺い、闘争の要求について説明し質問に答えます。

